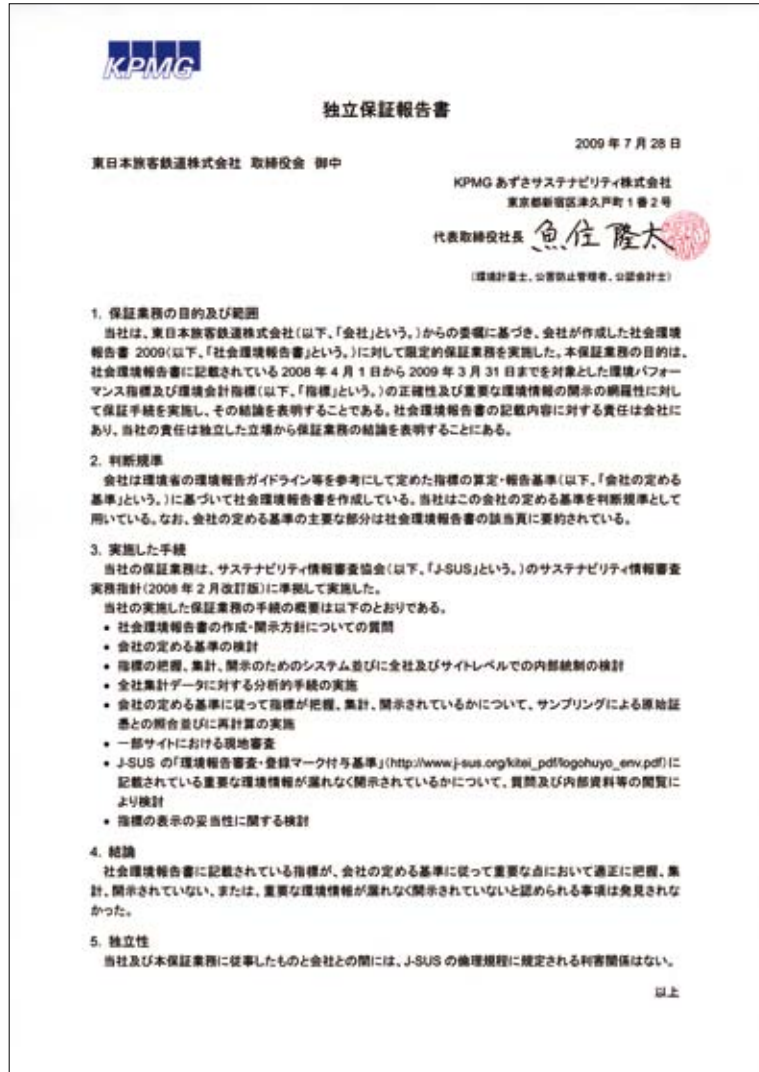


● 第三者保証報告



KPMG
あずさサステナビリティ株式会社
アシュアランス事業部長
齋藤 和彦氏

2008年3月に「グループ経営ビジョン2020 -挑む-」を発表され、今回の社会環境報告書では、このビジョンの達成のために2008年度に打たれた布石や今後の方向性についてわかりやすく説明されています。

環境パフォーマンスデータに関しては、貴社グループの場合、非常に多数の拠点からデータを集約する必要があるため、データを一定の精度を保ちながら適時に把握することが課題であると認識します。特に、温室効果ガス排出量に関しては、一層の規制の強化や社会的な関心の高まりが予測される中、より厳格な管理が求められるようになって考えます。こうした要求に応えるとともに、貴社グループのビジョンを確実に形にしていけるためには、環境データの管理の水準をもう一段向上させる必要があると考えます。

また、貴社グループの社会的責任の重要な側面として「環境」、「安全」、「社会」の3側面が挙げられていますが、特に社会的側面については制度や取り組み内容についての定性的な記述がほとんどです。重要な社会パフォーマンス指標を特定した上で、特に重要な指標については目標を設定した上で、その指標をモニタリングし、年度の実績を報告することが望まれます。